

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター
 実施機関名：株式会社インソース岡山事業所

| | |
|------------|-------------------------|
| A. バックオフィス | DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 |
|------------|-------------------------|

| | |
|---------|---|
| コースのねらい | DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する。 |
|---------|---|

| 指導内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間 (H) | |
|------|--------|---------|--|-----|
| | 1 | DX概論 | (1)DXとは ①DXが求められる理由～ポストコロナ時代の今、考えるべきポイント ②DXの定義～DXとイノベーションの関係口 【参考】DXの具体的取組 ③DXのポイント～データに着眼する、徹底的に活用する ④DXの事例～既存のDXの事例とそのポイントを紹介 【参考】AI・IoT・ビッグデータの関連口 | 2.0 |
| | 2 | DX導入事例 | (1)DXの人材育成 【参考】DX人材育成研修体系(2020年版) (2)インソースのDX事例～営業DX:データを中心にした営業の仕組み化 ①WEB～社内情報を外部化する ②インサイドセールス～MA・SFAによるデータ収集・情報共有・活用 ③オンライン営業～オンライン会議ツールを徹底活用 (3)DXツール/システムの紹介 (1)DXツール/システムの選び方 (2)DXツール/システムの特徴 | 3.0 |
| | 3 | DX戦略の導入 | (1)新規事業創造におけるDXの進め方 ①既存のデータ(資産)を洗い出す ②プロトタイプ作成 ③仮説検証 ④企画書の作成～仕組み作り・実行体制作り 【参考】顧客データを収集・活用したサービス事例 (2)業務改善におけるDXの進め方 ①業務の洗い出し・業務フロー作成 ②課題の分析 ③システムの検討・データ活用の設計 ④システムの導入 ⑤データを活用した改善 | 1.0 |
| 合計時間 | | | 6.0 | |

| 訓練に使用する機器等 | |
|------------------|---|
| ●機器・ソフトウェア(受講者用) | ●機器・ソフトウェア(講師用・その他) |
| | ・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード OS: Windows10 |
| ●テキスト | ●その他 |
| ・自作テキスト | |